金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習（Delta Wall 2025）

金融分野のサイバーセキュリティを巡る状況

- 世界各国において大規模なサイバー攻撃が発生しており、我が国においても、サイバー攻撃による業務妨害、情報の窃取、金銭被害等が発生
- こうしたサイバー攻撃の脅威は、金融システムの安定に影響を及ぼしかねない大きなリスクとなっており、金融業界全体のインシデント対応能力の更なる向上が不可欠

金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習（Delta Wall 2025）

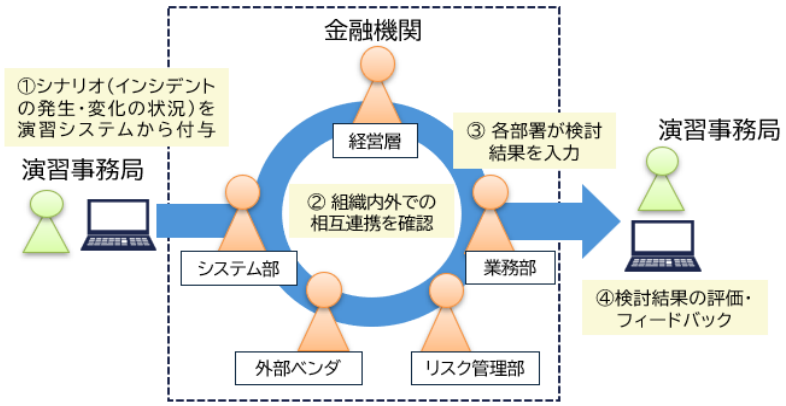
- 2025年10月、**金融庁主催による10回目の「金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習」（Delta Wall 2025（注））を実施**

  （注）Delta Wall: サイバーセキュリティ対策のカギとなる「自助」、「共助」、「公助」の３つの視点（Delta）＋防御（Wall）
- インシデント対応能力の底上げを目的として、演習未実施の中小金融機関の参加を促した結果、過去最多の**177先**が参加
- シナリオについては境界型防御の限界を踏まえた内部対策やゼロトラスト（※）の意識の向上を図ることが目的の一つ
- 昨年度に引き続き、テレワーク環境下での対応も含めたインシデント対応能力の向上を図るため、**参加金融機関は自職場やテレワーク環境下で演習に参加**

演習の特徴

- ✓ インシデント発生時における**初動対応、攻撃内容の調査・分析、顧客対応、復旧対応等の業務継続**を確認
- ✓ 参加金融機関がPDCAサイクルを回しつつ、対応能力の向上を図れるよう、具体的な改善策や優良事例を示すなど、**事後評価に力点**
- ✓ 本演習の結果は、参加金融機関以外にも**業界全体にフィードバック**

演習スキーム



【演習シナリオの概要】

- **銀行、信金・信組・労金**
  - ✓ （ブラインド方式のため非開示）
- **証券**
  - ✓サイバー攻撃により顧客情報漏えいが発生
- **資金移動業者・前払式支払手段発行者**
  - ✓サイバー攻撃により顧客資産の流出が発生
- **暗号資産交換業者**
  - ✓サイバー攻撃により暗号資産の流出が発生

※境界型防御では対応できない脅威に対処するため、社内外すべてを信頼できない領域とし、すべての通信を検知・認証する考え方